

炭 竈 ふく代 議員



軽度の障害を克服する 通級指導教室の複数設置を

問

学校教育について聞く。
(1) 24年度、平和教育で広島研修が予定されているが、その事業内容は。

(2) ①防災②交通安全③防犯教育の取り組みを聞く。
(3) 市からいじめをなくすため、どう考えているか。

(4) 現在、学校生活適応指導支援室【】に通う児童・生徒は何人か。支援内容は、
 不登校の小中学生を対象に、学籍のある学校とは別施設で学習援助し、本籍校復帰を目的にした教室。
市は鍋田支所2階に「アクティブ」を設置している。

(5) 通級指導教室【】の状況と支援内容を聞く。

また、桜小学校以外に複数校設置の考えはあるか。

 多動性障害等、比較的軽度の障害等を克服する指導を行う教室。教科の学習は通常の教室で行う。市は桜小学校に「さくらんぼ」を設置している。

25年度設置を 県に要望したい

答 教育長

(6) 中学校の保健体育の授業以外で、がん教育の特別授業も実施してはどうか。

(1) 23年に引き続き、11月に2年生全員の広島研修を計画し、1泊2日で、語部の講話や原爆ドームなどを見学する。

事前事後学習を行い、研修のまとめを冊子にする予定である。

(2) ①津波を想定し、高い建物へ避難するなど、最善の方法で訓練を実施している。今後もハザードマップづくりなど、防災教育の充実に一層力を注いでいく。災害時の避難所となる体

育館の天井補強、一部の校舎で屋上への外階段設置など、改修を計画的に行わなければならない。

②警察、県、市が合同で通学路を点検し、10月に危険個所対応策の合同会議を開催予定である。

また、PTAの当番活動やスクールガードにより、付き添い下校を行っている。

③各校で防犯教室や薬物乱用防止教室を開催している。

答 市長

(3) 市で、23年度22件のいじめが発生している。教育委員会に内容1件1件を精査してほしい。

早期発見と対応が最も大事で、未然に防ぐことを常に心掛けていきたい。

23年から始めた平和学習で、他者への思いやりも学習し、いじめ防止につながればと思っている。

答 学校教育課長

(4) 23年度末は8人、7月現在は6人である。

▲桜小学校の通級指導教室を視察する議員(平成21年当時)



集団への適応力を培い、元の学校の試験や行事も、可能なら参加している。

(5) 7月現在、17人である。週1、2時間、集団適応資質の指導や、教科補充指導等を行っている。

複数校設置は県に対し、25年度新たに開設できるように、要望していきたい。

(6) 時間調整等の問題が解決できれば、前向きに検討していきたい。